

<物 件>

消防指揮隊車(中央消防署) 仕様書

1	物件名称	消防指揮隊車 (中央消防署)
2	品質・形状・寸法 又は型式	別添仕様書のとおり
3	グリーン物品の指定	指定しない
4	数 量 (単価契約の場合 は予定数量)	1台
5	納入期限	平成30年12月17日(月)
6	納入場所	横須賀市消防総合訓練センター(横須賀市長瀬3丁目4番1号)
7	特記事項	納入後、旧車両及び別表に記載する資器材と同等のものを引取り処分すること。
8	契約方法	総価契約
9	支払方法	納入後、請求により一括払い
10	その他事項	・落札価格には購入車両の新規登録申請等にかかる手続き及び費用負担を含む。 ・自賠責保険料、重量税、購入車両の自動車リサイクル法にかかる費用は別途支給する。 ・この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	連絡先	横須賀市消防局 警防課 車両整備係 河村(046-821-6506)

指示事項

グリーン物品	上記で指定がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品を選定し、納品すること。 方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照してください。
--------	---

平成 30 年度

消防指揮隊車 仕様書  
(中央消防署)

横須賀市消防局

## 第1 総 則

この仕様書は、横須賀市（以下「本市」という。）が購入し、中央消防署に配置する消防用指揮隊車（以下「本車両」という。）について必要な事項を定める。なお、疑義が生じた場合は本市と協議をし、十分熟知のうえ契約するものとし、契約後に生じた疑義は、すべて本市の解釈に従うものとする。

## 第2 規 格

本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他関係法令の規格に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られるものであること。

## 第3 契約・仕様打合せ

受注者は、契約締結後1か月以内に仕様内容等について本市と打合せを行い、打合せ終了後1週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

## 第4 提出書類

- 1 受注者は、契約後5日以内に次に掲げる書類を本市へ提出すること。
  - (1) 契約内訳書
  - (2) 製作工程（予定）表
  
- 2 受注者は上記確認書の提出後、2か月以内に次に掲げる承認図書を提出し、承認を得てから製作に着手すること。なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本（A4版ファイル、目次、インデックス付） 1部

  - (1) 製作工程表
  - (2) 承認図
  - (3) 特殊装備部分の電気配線図
  - (4) 消費電力一覧表
  - (5) その他本市が必要と認めたもの
  
- 3 受注者は、納入検査の3日前までに次に掲げる完成図書を作成し、本市へ提出すること。

なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本（A4版ファイル、目次・インデックス付） 2部

電子媒体（1つの電子媒体に記録） 1部

  - (1) 本車両仕様書
  - (2) 外観5面カラー写真
  - (3) 完成図
  - (4) 改造概要等説明書
  - (5) 車検証の写し
  - (6) リサイクル券の写し
  - (7) 車庫証明の写し
  - (8) 自動車損害賠償責任保険証明書の写し
  - (9) 排出ガス・燃費基準等ステッカーの写し
  - (10) 自動車台帳（本市が指定する様式）
  - (11) 車両取扱説明書（※製本のみ）

- (12) 車両及び積載資器材の保証書等
- (13) パーツリスト
- (14) シャシカタログ
- (15) サイレンアンプ音声合成パターン一覧表
- (16) その他本市が指示するもの

## 第5 検査、受領及び保障等

### 1 検査申請

検査の申請は、検査日の2週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本市に申請すること。

### 2 中間検査

ぎ装途中に実施するものとし、検査時期については別途指示する。

### 3 納入検査

本市検査員及び納入者が立会いのうえ実施する。なお、納入時指揮車の各部について点検整備及び清掃を行うこと。

### 4 受領

納入検査の実施後、本市が合格と認めた場合に受領するものとする。

### 5 保証

保証期間については納入後1年以上とし、保証書を提出すること。また、設計・製作・塗装・材質・部品等の不良により起因する不都合の発生については、保証期間後であっても受注者において無償により是正修復すること。なお、特許その他利権上問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

### 6 技術指導

納入者は、当局が別に指示するとおり、本車両、ぎ装装備品等の取扱いについて技術指導を行うこと。

## 第6 納入

### 1 納入場所

横須賀市消防総合訓練センター（横須賀市長瀬3丁目4番1号）

### 2 納入期限

平成30年12月17日（月）

## 第7 登録手続き等

車両の新規登録及び廃車登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、本車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法にかかわる経費は、本市が負担するため、別途請求すること。

## 第8 引取り・解体処分

受注者は下記のとおり、車両1台及び別表1～4に記載する車両積載品等と同等のものを引取り・解体処分すること。

### 1 解体処分方法

#### (1) 車両関係

- ア 緊急自動車として再利用、再登録できない状態にすること。
- イ 全ての赤色警光灯類（サイレンアンプも含む）を取外し、再利用不可の状態にすること。
- ウ 記入文字の全てを完全に消すこと（色付スプレー等で塗装処理は不可）。
- エ その他本市が指示する必要事項。
- オ 上記アからエの作業実施後、4面カラー写真及び神奈川運輸支局長が発行する解体が行われたことの証明書（登録事項等証明書等）を提出すること。

#### (2) 装備品関係

- ア 転売及び再利用ができないよう、適正に処分すること。
- イ その他本市が指示する必要事項。

### 2 引渡し予定車両

引渡し予定車両の概要は下記のとおりとし、車検証の写しが必要な場合は、担当者まで連絡すること。なお、他車両の状況等により引渡し予定車両が変更になる場合は、速やかに受注者へ通知する。

1	車体の形状	指揮隊車（452号）
2	車名	トヨタ
3	型式	CBF-TRH200K
4	初年度登録	平成22年1月
5	車検有効期間	平成32年1月25日
6	車両重量	2,130kg
7	車両総重量	2,405kg
8	定員	5人

## 第9 車 両

本市が購入する本車両の主要諸元は、次のとおりとする。

### 1 購入台数

1台

### 2 車両タイプ

バンタイプ（ハイルーフ5ドア、寒冷地仕様車）

### 3 エンジン

2,500CCクラス以上

### 4 駆動方式

四輪駆動オートマチック方式

## 5 定 員

4名

## 6 完成車両寸法

- (1) 全長 5,400 mm以下
- (2) 全幅 1,800 mm以下
- (3) 全高 2,500 mm以下

## 7 装 備 品

別表1のとおり

## 8 ぎ装、取付け品及び取付装置

別表2のとおり

## 9 デジタル無線機及び車両運用端末装置 (AVM 装置)

別表3のとおり

## 10 積載品・付属品

別表4のとおり

## 第10 車体の構造

- 1 本車両は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 2 本車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに使用取扱い上の安全性及び操作性、点検、修理等の維持管理を十分考慮したものとすること。
- 3 使用する材料は全て新規製品、日本工業規格及び国の補助対象規格（「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額（平成16年3月30日総務省告示第281号）」並びに「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）」）等に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

## 第11 ぎ装、取付け品及び付属品

### 1 外 観

- (1) 車両前部の中央部に消防章を強固に取付けること。
- (2) 赤色点滅灯を車両前部に2個取付けること。
- (3) 赤色点滅灯、周囲灯を車両の両側面及び後面に必要数を取付けること。
- (4) ルーフ前方中央部に赤色警光灯（標識灯、スピーカー及びモーターサイレンが一体化されているもの）を取付けること。なお、標識灯は車両のスマールランプと連動させ、点灯・消灯させること。
- (5) ルーフ上にアルミ縞板製のデッキを設け、周囲は強度のある1段手摺りを取付けること。
- (6) 車両左右（運転席及び助手席以外）の窓は、採光を得られ、かつ、夜間室内灯を点灯させた状態でも車内のプライバシーが守られるよう、擦りガラスと同様な効果を得られるようにフィルム処理等を行うこと。

- (7) 手摺り兼用の旗立てパイプ(口径約 25 mm)を車体助手席側に取り付けること。
- (8) 安全走行を図るため、可能な限りアプローチアングル(図面記載)を確保すること。詳細は別途協議とする。
- (9) 車外の左右側面に耐加重 10k g 程度の吊下げフック(折りたたみ式)を2箇所以上取り付けること。なお、取付け位置については別途協議とする。
- (10) バックドアにデッキへ昇降できるリアラダーを設けること。なお、昇降時に足先が車体に触れても損傷しないように保護板等を設けること。
- (11) 車両の助手席側に天幕(オーニング)を設けること、なお、大きさ等については別途協議とする。

## 2 車両内部

- (1) 車室は堅ろうな天蓋及びドアを有すること。
- (2) 乗車定員はキャブ内に4名以上とし、安全に乗車できる座席を設けること。
- (3) 乗車人員の乗降時及び走行時における安全の確保に必要な握り棒、手摺り、ステップ及びシートベルトを設けること。
- (4) ルームミラー型車両後方確認装置を取付けること。
- (5) ドライブレコーダーを取付けること。
- (6) エンジンアワーメーターを取付けること。
- (7) 後退警報器を取付け、解除スイッチを運転席付近に設けること。
- (8) 運転手が使用できる位置にフレキシブルマイクロホン(スイッチ付)を設けること。
- (9) 運転手が使用できる位置にモーターサイレンスイッチ(10連スイッチとは別)を設けること。なお、設置位置等については別途協議とする。
- (10) 必要により乗降及び走行時に支障のない天井部に吊下げ式の棚を設けること。
- (11) 必要な位置にネット状の網棚を設置すること。大きさ、位置、数については別途協議とする。
- (12) 前席の中央部に重量物に耐えうる強固なコンソールボックスを設けること。但し運転に支障を来さぬように形状等は配慮すること。なお、ボックスを取外すことなくエンジンルームが点検できる構造とし、詳細は別途協議とする。
- (13) コンソールボックス内に付帯する資器材は次のとおりとする。なお、構造上コンソールボックス内に納める事が出来ない場合は別途協議とする。
  - ア 車載無線機
  - イ 無線送受信器
  - ウ 車両運用端末装置(AVM装置、液晶ディスプレイ等の重量は約5kg)
  - エ 電装用スイッチ(必要時)
  - オ ワイヤレスシステムユニット(赤色警光灯内蔵のスピーカーから発することが可能)
  - カ 10連スイッチ(誤操作防止保護枠付き)
    - (ア) 渋滞通過
    - (イ) 交差点通過
    - (ウ) 出場予告
    - (エ) 赤色点滅灯 OFF
    - (オ) 周囲灯
    - (カ) モーターサイレン
    - (キ) 火災出場
    - (ク) 救助出場
    - (ケ) 赤色警光灯
    - (コ) インバーターメイン
  - キ 電子サイレンアンプ(音声合成機能及び専用マイク付)

- (ア) 10 連スイッチと連動すること。
  - (イ) 赤色警光灯及び赤色点滅灯スイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。
  - (ウ) 音声合成機能付き（方向指示器と連動）で警鐘の擬似音を発することが可能であること。
  - (エ) 専用マイクには必要により抜け止め防止措置を施すこと。取付位置等は別途協議とする。
- (14) 標識灯は車両のスマールランプと連動させ、点灯、消灯させること。
- (15) 電子サイレンアンプで使用するマイクを、後部座席の乗降車及び走行時において支障のない位置に増設すること。なお、必要によりマイクには抜け止め防止措置を施すこと。
- (16) 必要に応じて金具及びベルト等を使用し、誘導棒 2 本を取付けること。

#### 4 座 席

- (1) 乗車人員の走行時における安全確保に必要なシートベルトを設けること。
- (2) 全席とも難燃材を使用し、防汚、シートカバーを取付けること。
- (3) 後席は折りたたみ式とし、背もたれ部分の背面はアルミ縞板張りをを行い荷室として使用できる構造とすること。また、シート座面下はAVM装置及び無線機器関係の収納場所とする。
- (4) 後席前面の乗降車時支障のない位置に書類入れボックス、A3 サイズに対応する折畳式テーブルを設けること。
- (5) 車室内のスペースが確保できず施工不能の場合は、別途協議とする。

#### 5 後部収納関係

- (1) 車両後部の荷室内に資器材等を収納し、後席及びバックドアから資器材等の出し入れに有効活用出来る収納棚を設けること。なお、構造は床面に近接する骨格部分は、腐敗を防ぐ目的から木材以外の材質とする。収納レイアウト等は別途協議とする。
- (2) 収納棚の棚板等は着脱及び高さ調整が出来き、かつ、棚板等の飛び出しを防止する構造とすること。
- (3) 次に掲げる装備品は棚等を活用し安全確実に積載すること。  
 なお、走行時に搭載品の脱落がないよう必要箇所にバンド等による固定装置を取り付けることとし、容易に取外しが可能な施工とすること。

ア ハンドマイク

イ 本部旗（伸縮ポール付）※天井部

ウ 発電機

エ 投光器（三脚付き）

オ 横須賀式指揮台及び必需品（収納搬送バッグ付）

カ 手持ち照明器

キ 携帯無線機

ク 車輪止め

ケ 消火器

コ 本市が指定するもの

#### 6 車内照明

- (1) 前後席及び荷室の天井に LED 照明（純正品とは別）を保護枠及び遮光布（必要に応じ）付きで設けること。
- (2) 助手席上部及び後部席用（左右）に LED フレキシブルマップランプを取付けること。

## 7 その他

- (1) キャブ内の床面は可能な限りアルミ縞板張りとし、消防活動後の乗車における水汚損防止の措置を講じること。なお、必要に応じて水抜き穴を適所に配置すること。
- (2) バックドア内側、または収納庫前面にホワイトボード掛けを取付けられる構造とし、ドア開放時に照明として使用可能なLED灯を取付けること。
- (3) 天井部は、電装品及び各配線の点検が可能な限り容易に行える構造であること。
- (4) その他本市が指示する必要事項。
- (5) 各項目について、シャシ等の構造により施工できない場合は別途協議とする。

## 8 電装関係

- (1) バッテリー容量は走行用及び特殊装備品の使用に対し、十分な容量を確保すること。
- (2) バッテリー管理器を後席座面下に取り付け、車外に充電器用AC100V入力マグネットコンセントを設けること。なお、外部入力用の電源コードの長さは10m以上とすること。
- (3) 前席中央部コンソールボックス付近及び後部座席付近にAC100V用コンセント（2個口接地付）を設置すること。  
なお、電源は上記（2）の電源と共有とし、取付位置等は別途調整とする。
- (4) ドライブレコーダー、赤色警光灯及び無線機器の特殊電装品の電源関係は、ACC以上で通電すること。但し、無線機・AVM装置の電源関係については、後述の仕様に準じた配線とする。
- (5) インバーター（正弦波500Wクラス）を取付け、集中操作スイッチ内にメインスイッチを設けること。インバーター出力コンセントは、明記の上の前席中央付近に設けるほか、車外にAC100V防雨型コンセントを設け、車内に使用時の切替スイッチを設けること。なお、外部電源供給時においても同様に使用可能とすること。

## 9 無線機

無線機の配線等については納車後に、消防救急デジタル無線機の取付を本市が実施するため、次のとおり行うこと。

### (1) 車外

#### 消防救急デジタル無線用アンテナ

- ア 消防救急デジタル無線用アンテナ及びアンテナ取付金具を受注者で新たに用意し取付けること。なお、アンテナ取付金具は、マグネット固定、吸着盤式固定、ルーフサイド型（ガーター取付）以外とすること。ただし、構造上ルーフサイト型（ガーター取付）等のアンテナ取付金具等になる場合は、発注者と協議し、発注者の承諾を得ること。
- イ アンテナ取付位置は、ルーフ上部の送受信に支障のない位置（デジタル用ダイバーシティー方式2本を1.2m以上離して設置、アンテナエレメントと同じ高さの金属類から30cm以上離して設置）に設けること。なお、この離隔距離が確保できない場合は、発注者と協議し、アンテナ取付位置について発注者の承諾を得ること。
- ウ 貫通型のアンテナ基台を設ける場合はその貫通部、そのほかの場合はアンテナケーブルの貫通部を室内から容易に点検できる構造とすると共に、貫通部から雨露の侵入がないようにすること。

### (2) 車内

- ア 無線機の仕様に合わせ、無線機取付位置を確保し、無線機取付ブラケット用の架台を受注者で用意し取り付けること。なお、取付位置は、無線機の表示部が前席からの視認が容易な位置とすること。
- イ 上記アによる取付けスペースの確保が困難な場合は、無線機別体式の表示部（分離制御機と接続ケーブル）を受注者で用意し、前席からの視認が容易な位置に設置できるようスペースを確保すること。なお、無線機本体取付位置に応じて保護箱等を用意すること。

- ウ 無線用アンテナケーブル（5D-FB）を「各アンテナ取付位置から無線機取付位置」まで1本ずつを配線すること。
- エ アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とし、各無線機取付位置まで配線すること。なお内張り内でケーブルのばたつき音が生じる恐れがある場合は、フレキシブルチューブ配管などで必要な処理をすること。
- オ 無線送受信器及び無線送受信機用ハンガーを受注者が新たに設け、助手席付近及び後部座席付近の乗降車及び走行時において支障のない位置に取付けスペースを確保することとし、取付位置等は別途協議とする。
- カ 無線機用電源ケーブルについて
- (ア) デジタル無線機取付位置付近に端子台を設けるほか、端子台には、プラスチック製のカバーを付けること。なお、取付位置等は別途協議とする。
- 端子台には、次の電源を供給するように施工することとし、シャシにより設定の無いものについては、省略することができることとする。
- ① バッテリー（+）電源（バッテリー直接供給）
  - ② バッテリー（-）電源（アース）
  - ③ メインスイッチに連動する（+）電源
  - ④ キー操作によるアクセサリに連動する（+）電源
  - ⑤ キーオンまたはIG（イグニッション）に連動する（+）電源
- ※シャシが24Vであれば、端子台への供給電圧は24Vとなるように接続すること。
- (イ) (ア) の①の供給電源については、バッテリーからの専用配線とし、ヒューズ（10A）を介して供給すること。
- (ウ) (ア) の③から⑤の供給電源については、バッテリーからの専用配線とし、それぞれヒューズ（10A）およびリレーユニットを介して供給すること。
- (エ) 無線機専用の電源ケーブルを受注者で用意すること。
- (オ) 各配線の端末及び端子台には、線種を明記すること。
- (カ) 各電源ケーブルには、50cm程度の余長を持たせること。
- キ 無線機電源用キースイッチ取付位置を確保し、電源線（VCTF 2C×0.75sq 色は、黒・白）を「無線機取付位置からキースイッチ取付位置まで」配線し、キースイッチへ接続すること。接続する端子と配線の色については別途指示する。
- なお、キースイッチ取付位置は別途指示する。キースイッチについては、受注者で用意すること。
- ク 無線用スピーカー（定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω）を受注者で用意し、車内2箇所に埋め込み式で設置し、音声用ケーブルをデジタル無線機取付位置まで配線すること。取付位置等は、別途協議とする。
- ケ 送受信器用6芯ケーブル（MVVS 6C×0.3sq）を受注者で用意し、「デジタル無線機取付位置から助手席足元まで」、「助手席足元から後部送受信器付近まで」配線すること。
- コ 各ケーブル類は電圧の整合を図り、余長を持たせた長さとする。なお、余長の長さについては本市担当者と協議すること。
- サ 各配線の端末は、線種を明記すること。

## 10 車両運用端末装置（AVM 装置）関係

車両運用端末装置（AVM 装置）の配線等については、納車後に本市所有のAVM装置の取付工事を本市が実施するため、受注者がアンテナ等を新たに用意し、次のとおり施工すること。なお、詳細は別途指示する。

- (1) 指定するGPSアンテナをルーフ上に取付け、GPSアンテナの設置部周辺及び配線接続部分に耐熱防水（車両外装用シリコン・シーラント）処理を実施し、車両インターフェースユニット

の取付位置まで配線すること。ルーフ上への取付けを最優先とするが、困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、極力水平の位置で金属製 GPS アンテナ用アースプレートを貼付した上に取付け、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを考慮して最短距離で配線すること。GPS アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。

- (2) 指定する FOMA アンテナをルーフ上に取付け、耐熱防水（車両外装用シリコン・シーラント）処理を実施し、モニタユニット取付予定位置付近まで配線すること。ルーフ上の取付けが困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、FOMA アンテナを立てることが可能な位置に取付け、モニタユニット付近まで最短距離で配線すること。FOMA アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。
- (3) FOMA アンテナ及び GPS アンテナの取付位置は、無線用アンテナから概ね 50cm 以上離すこと。また、運転の安全を妨げることのない、かつ金属突起部等から極力離れた位置に設置すること。
- (4) FOMA アンテナ及び GPS アンテナ設置位置からの車外配線を行う場合は、車両進行方向と逆側に配線し、車内の配線については、無線用同軸ケーブルと同じ経路で通線しないこと。配線は最短距離で行ない、配線を保護する方法と外部から浸水しない処置をすること。
- (5) 液晶ディスプレイの取付架台を運転に支障がなく、かつ助手席からの操作が容易な位置に設けること。取付架台は可能な限り液晶ディスプレイの設置位置を前後に変更できるよう幅を設け、かつ取付部分の高さが複数位置に可変できるようにすること。固定方法と高さについては別途協議する。液晶ディスプレイ等重量は約 5 kg であり、取付架台の強度を十分確保するため、鉄板強度を高めた構造とし、ボルト及びダブルナット固定とすること。
- (6) AVM 装置関連機器（車両インターフェースユニット、メンテナンスユニット（カバー含む）、モニタユニット、ネジ式ターミナル端子）の設置場所を確保すると共に、工具等を使用せず関連機器の工事・点検等が容易に行えるようにすること。車両インターフェースユニットの設置位置には、車両インターフェースユニット及びネジ式ターミナル端子台を余裕で収納できる金属加工のカバーを設置すること。確保カバー形状と設置位置については別途協議する。車両内に配線経路のみを通すことのできる隔離した収納場所を設けている場合、本市と協議の上で金属加工カバーの設置をしないことができる。
- (7) ネジ式ターミナル端子台には、上から順番にバッテリーからダイレクト配線の+端子、アクセサリ（ACC）、イグニッション（IGN）、SPEED 信号（車速信号）、BACK 信号、アース（ボデー）、バッテリーからダイレクト配線の-端子で配線すること。また、各配線及び端子台には、線種が分かるようタグを取付けること。ネジ式ターミナル端子台は、納車時に完全固定しないこと。
- (8) バッテリーの電源配線については、バッテリー付近にブレードヒューズ BOX と 10A のブレードヒューズを取付け、ネジ式ターミナル端子台まで直接配線し、他と配線を共用しないこと。ブレードヒューズ BOX には、タグを貼付すること。車両バッテリー交換時に、この配線が車両内で干渉しないよう考慮して配線すること。
- (9) AVM 装置関連機器設置位置に、資器材等を積載する恐れのある構造の場合は、関連機器を保護するための措置をすること。
- (10) 配線端末には線種を明記したタグを貼付すること。

## 11 塗装及び記入文字

### (1) 本車両の塗装

塗装色については、本市が別に提示する色見本もしくは、外観塗装全般（ホイール部分を除く）は、マンセル値 7.5R4/14 の近似値または同等色とし、彩度は 14 以上ならば可とする。

(2) 本車両の記入文字

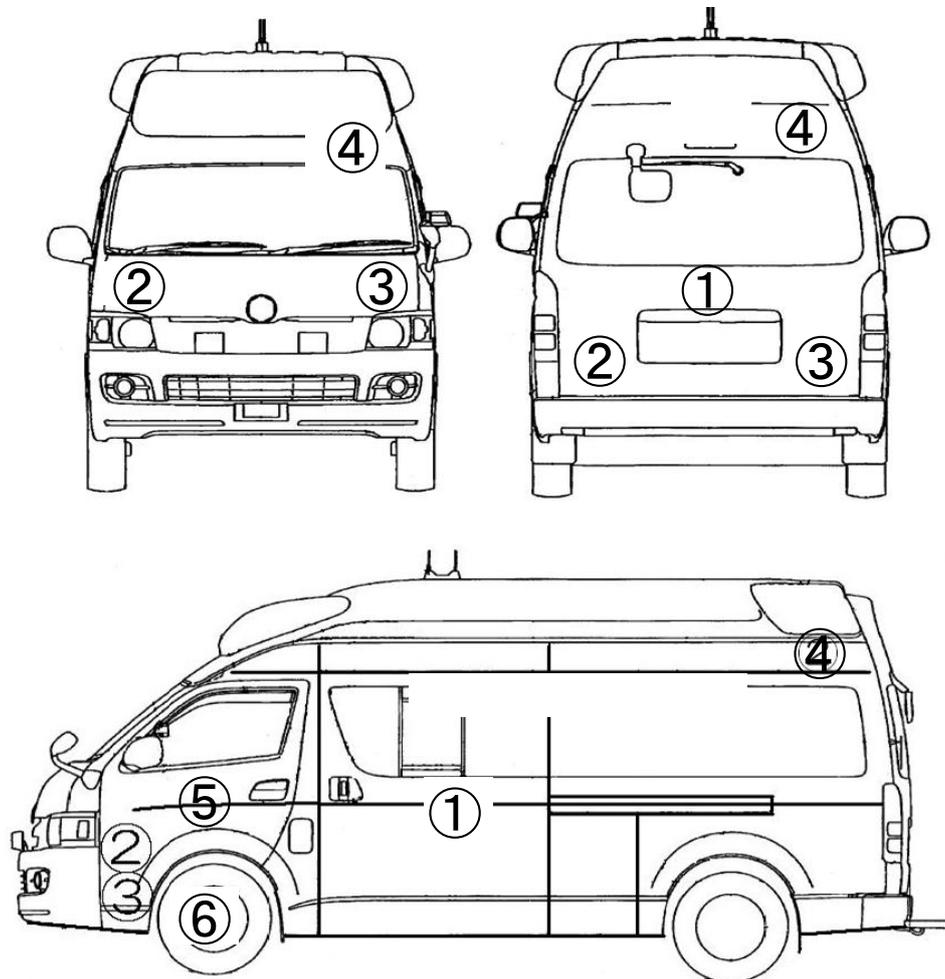
- ア 横書きの文字は、左から右への表記とする。
- イ 指定する文字は、白色の丸ゴシック体とすること。なお、詳細は別途指示とする。
- ウ 表記している文字は、位置・大きさを考慮し、バランスよく表示すること。なお、車両の形状等に応じて協議の上、調整を可能とする。詳細は別途指示とする。
- エ その他のデザインについては、別途協議とする。
- オ 表記文字等は別添とおりとし、変更となった場合は速やかに受注者へ通知する。

**第12 補 足**

- 1 車両の取付け品等において同等以上の性能を有するものを備える場合は、本市と協議をし、承認を得ること。
- 2 車両の資器材は最新の物とし、変更がある場合は本市担当者へ連絡すること。  
当市が指定する資器材には専用の収納ケースを設けること。  
  
※上記の1及び2については、原則、仕様書の適用欄に示したとおりとする。ただし、契約後において、仕様書で定めた物品と同等以上の性能、操作性及び安全性を有することを証明できる内容の資料提出があり、本市が認めた場合は同等品とみなす。
- 3 別表1から別表4までの資器材には、「中央消防署 523」と明記すること。また、各収納ケースには、資器材名称及び「横須賀消防」と明記すること。その他、詳細は別途協議とする。

別添

※ 添付している文字記入位置イメージ図は、記入位置を参考にするものであり、車両及び資機材等を限定するものではない。



記入文字等	記入位置	色別	1文字の大きさ 縦 (mm) × 横 (mm)
横須賀市消防局	①	白	別途指示
中央	②		
車両番号 (523)	③		
指揮	④		
横須賀市消防局 行先	⑤	別途指示	
補助金等充当元 (別途指示)	別途指示		

別表 1

## 装備品

番号	品名	適用	数量
1	エンジン回転計	適応品	1 式
2	エンジン油温計	適応品	1 式
3	アワーメーター	適応品	1 式
4	エアコン	適応品	1 式
5	パワーステアリング	適応品	1 式
6	パワーウィンドウ	適応品	1 式
7	デュアルエアバック	適応品	1 式
8	集中ドアロック	適応品	1 式
9	フォグランプ	適応品	1 式
10	電動格納ミラー	適応品	1 式
11	時計	大型デジタル	1 式
12	ラジオ	AM・FM	1 式
13	サイドバイザー	適応品	1 式
14	フロアマット	適応品	1 式
15	泥除け	適応品	1 式
16	停止表示板	適応品	1 式
17	車輪止め	ゴム製（黄色）	2 個
18	本車両用スペアタイヤ	ホイール付（塗装なし）	1 式
19	本車両用タイヤチェーン	適応品	1 式
20	スタッドレスタイヤ	ホイール付	4 本
21	本車両用ブースターケーブル	適応品	1 式
22	本車両用鍵	標準装備分含め 4 本	1 式

別表 2

## ぎ装、取付け品及び取付装置

番号	品名	適用	数量
1	消防章	台座付き（グリル赤塗装）	1 式
2	補助ミラー	助手席側の車外	1 式
3	旗立てパイプ	口径約 25 mm・手摺り兼用	1 式
4	赤色警光灯	NF-ML-VA2M-HA1-LF	1 式
5	赤色点滅灯	車両前後部及び側面上部 （必要箇所保護枠付き） 前/後 LFA-50、側面 LFA-100	1 式
6	周囲灯（両側面）	LI-21（各 2）	1 式
7	標識灯	赤色警光灯一体型（スモールランプと連動）	1 式
8	サイドオーニング		1 式
9	ルーフデッキ	アルミ縞板、手摺（リアラダー含む）	1 式
10	擦りガラス仕様	運転席、助手席以外	1 式
11	塗装・記入文字		1 式
12	インバーター	正弦波 500W クラス	1 式
13	車外 AC100V コンセント	2 個口接地付（コンセントカバー付）	1 式
14	ビニールレザー加工	乗員席	1 式
15	ルームミラー型車載用 後方確認装置		1 式
16	ドライブレコーダー	（株）ユピテル製 BU-DRHD431（納車時最新式）	1 式
17	マップランプ（LED タイプ）	助手席及び後部座席（左右）、照射角度調整・ON/OFF スイッチ付	1 式
18	フレキシブルマイク	運転席用	1 式
19	ワイヤレスマイクシステム	ユニベックス製（アンプ・アンテナ・システムケース・チューナーユニット・マイク含む）	1 式
20	後退警報器（ブザー音）	解除スイッチ付き	1 式
21	電子サイレンアンプ	TSK-5101V （通信機能・専用マイク（前部設置）付）	1 式

22	電子サイレンアンプ用 マイク	後席用	1 式
23	集中操作スイッチ	SBW-100 横須賀仕様（通信機能付）	1 式
24	モーターサイレンスイッチ	運転席付近及び集中操作スイッチ組込み	1 式
25	AVM 台座兼収納ボックス	前席中央部付近	1 式
26	室内灯（LED タイプ）	後部座席上部、荷室後方上部及び後部ハッチ内側（ON/OFF スイッチ付）	1 式
27	前後席仕切り（棚、網等）	ネットパネル、収納棚、折り畳みテーブル含む	1 式
28	後部座席乗員席	折畳式、背面アルミ縞板張り	1 脚
29	ヘルメット、被覆かけ	車室内 必要箇所	1 式
30	バッテリー管理器	ズボラ充電器 （コンセントマグネット式、コード 10m 付）	1 式
31	車内 AC100V コンセント	2 個口接地付 （運転席付近、後部積載庫内各 1 個）	1 式
32	DC12V 出力コンセント	DC12V 出力コンセント （シガーライターソケット）	1 式
33	収納棚	構造等は別途協議（書類入れ含む）	1 式
34	天井棚	構造等は別途協議（ネット収納含む）	1 式
35	フック	必要数（車内及び車外）	1 式
36	取付け金具	P 6 第 11-5-(3)に記載のもの	1 式
37	後部荷室床面	アルミ縞板（水抜き穴必要箇所）	1 式

別表 3

## デジタル無線機等、車両運用端末装置 (AVM 装置)

番号	品名	適用	数量
デジタル無線機関係			
1	無線用アンテナ	260MHz 帯消防救急デジタル無線用アンテナ 1/4 波長または 1/2 波長 (フレキシブル)	2 本
2	アンテナ取付金具	アンテナに適合した取付金具	2 個
3	同軸ケーブル (コネクタ付)	5 D - F B	1 式
4	無線機用電源 ケーブル	富士通ゼネラル製 S G M S G F M 2 - 8 L 5 0 0 0 同等品	1 式
5	無線機送受話器	MC - 1 5 7 D (無線機から送受話機までのケ ーブルやジャンクションボックス等を含む)	2 式
6	送受話器用 ブラケット	CM - 5 5 3 8	2 個
7	無線用スピーカー (車内)	定格入力 5 W 以上、定格インピーダンス 8 $\Omega$ 、 ON/OFF スイッチ付	2 個
8	キースイッチ	タキゲン S-〇〇〇-90-EF-1 ※〇〇〇は、鍵番号のため別途指示	1 式
9	電装機器類	無線機・アンテナ・電源・ハンドセット・スピーカ ーを一体の無線設備として動作させるために必要なケ ーブル・端子台・リレー等を接続させる電装機器類	1 式
車両運用端末装置 (AVM 装置)			
10	GPS アンテナ	本市指定	1 本
11	FOMA アンテナ	本市指定	1 本
12	インターフェースユニットカバー	本市指定	1 式
13	車両運用端末装置用電源ケーブル	本市指定	1 式
14	ブレードフューズボックス (10A)	本市指定	1 式
15	タグ取付け	本市指定	1 式

別表 4

## 積載品・付属品

番号	品名	適用	数量
1	発電機	Eu9i	1 基
2	指揮台周囲照明	ノマド 360 (専用バッグ、予備バッテリー付)	1 式
3	照明器具 (手持ち)	LED ランタン	2 式
		LED 棒型手持ち照明 (充電器付)	3 式
4	投光器 (三脚付)	FLS-65LW	1 式
5	ホワイトボード (マグネット式)	900×600 程度、フック付 専用マグネット (別途協議)	2 式
6	折りたたみ指揮テーブル (横須賀式指揮台)	本市指定 (携行用専用バッグ付)	2 式
7	台車	折り畳み式 (最大積載量 100 kg)	1 台
8	キャリーカート	折り畳み式キャリーカート (横須賀消防明記) 耐荷重 100 kg	1 台
9	セーフティーコーン	ライト付き	6 個
10	安全ベスト	「横須賀消防」ロゴ入り	1 着
11	消火器	自動車用 A B C 粉末消火器 (薬剤量 3 k g 以上)	1 式
12	現場指揮本部旗	横須賀仕様 伸縮ポール付	2 式
13	風速計	ハンディータイプ	1 式
14	ホースバンテージ		5 枚
15	ホースブリッジ		1 式
16	携帯デジタル時計	電波時計 (気温、湿度表記)	1 個
17	コードリール	防雨型、接地付 G E-30K 30m	1 基
18	立入禁止テープ (巻取機付き)		10 巻
19	簡易型テント	ミスタークイック 総アルミタイプ (大・小) (所属名等表記) 付属品含む	各 1 式
20	ハンドマイク	防雨型メガホン (大、小 2 計 3) ポーチ付 肩掛け紐 (長) 付	1 式
21	熱画像カメラ	F L I R K55	1 式

22	クイックシールドα	ネーム別途指示	3式
23	ブルーシート	3.6×3.6	5枚
24	専用収納ケース	別途協議（バッグ、アルミケース等）	1式
火災調査資器材			
25	照明器	防雨型フローレンライト	2式
26	距離計	BOSCH レーザー距離計	1個
27	レターケース	本市指定の位置に設置	1式
28	バインダーバッグ	FS JAPAN 臨場バインダーバッグ	2式
29	み		3個
30	ほうき	竹ほうき	2本
31	メジャー	ヤマヨ 3Xミリオン OTR50X	1個
32	工具	KTC (SK35616P)	1式
33	ウォーキングメジャー	リカ・ウォーキングメジャー C-10	1式
34	無線機携行用ベスト	FS JAPAN メッシュベスト BS2 色内訳（イエロー1着 ブラック1着）	2着
		バックプリント 別途指示	2式